

## II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

問4 鳥取県の施策等について、政策分野別のあなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1～5のいずれかの数字に○をしてください。)

### 問 4-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～豊かな自然環境の保存や観光資源を活用した誘客の取組に「満足」～

豊かな自然環境でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」が 38.0%と最も高く、次いで「観光資源を活用した観光誘客の取組」が 37.2%、「次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出量削減の取組」が 28.7%と続いている。

3ヶ年(28-30年度)比較でみると、満足度は、「農林水産物の販売戦略(29年度比:6.4ポイント増加)」「農業の活力増進に関する取組(29年度比:6.1ポイント増加)」「観光資源を活用した観光誘客の取組(29年度比:5.5ポイント増加)」が28年度-29年度は減少していたものの、30年度は特に増加回復が大きな項目となっている。

図9 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(平成30年度)  
(n=1,324)

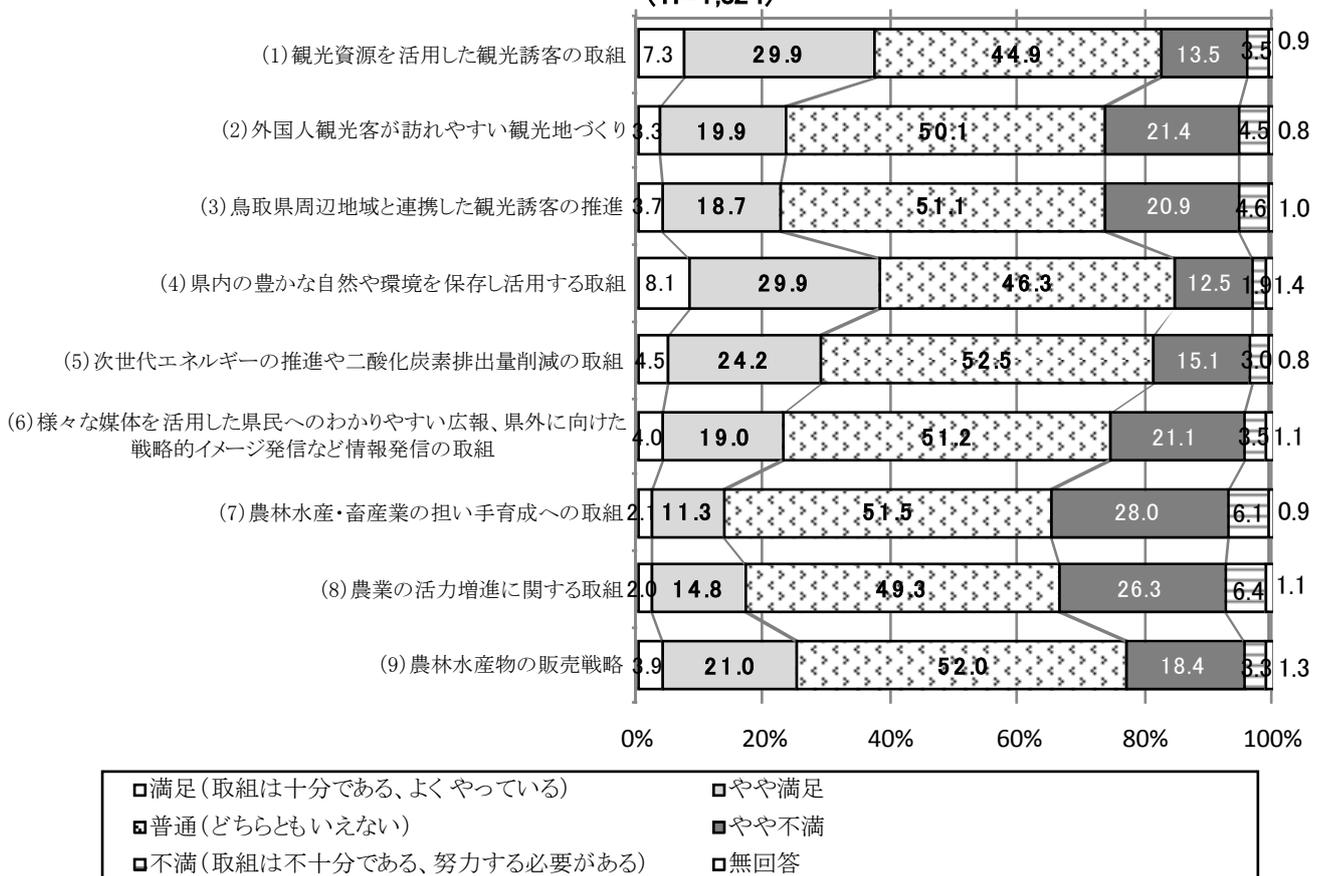
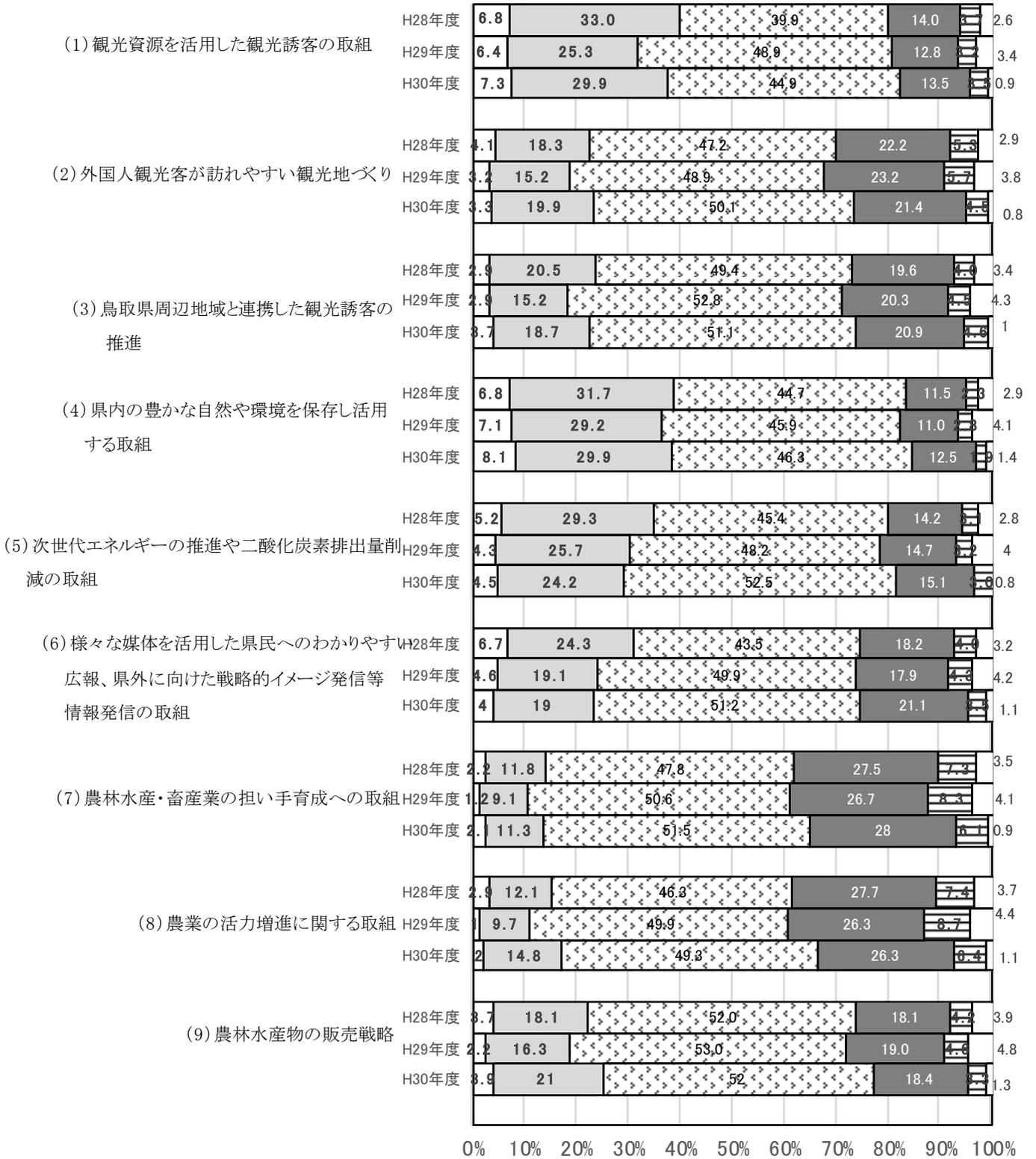


図10 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度



満足(取組は十分である、よくやっている)  
 やや満足  
 普通(どちらともいえない)  
 やや不満  
 不満(取組は不十分である、努力する必要がある)  
 無回答

問 4-1-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

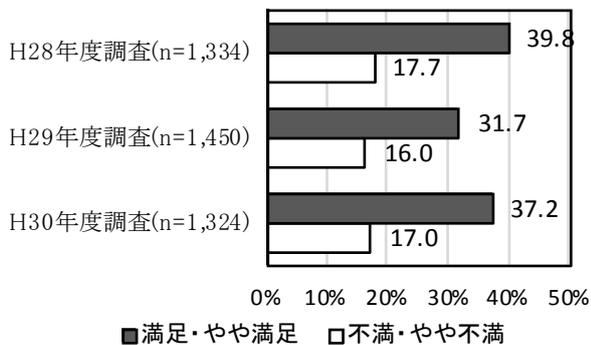
●「満足・やや満足」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(9) 農林水産の販売戦略	【+6.4】
【上位2】(8) 農業の活力増進に関する取組	【+6.1】
【上位3】(1) 観光資源を活用した観光誘客の取組	【+5.5】
(2) 外国人観光客が訪れやすい観光地づくり	【+4.8】
(3) 鳥取県周辺地域と連携した観光誘客	【+4.3】
(7) 農林水産・畜産業の担い手育成への取組	【+3.1】
(4) 県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組	【+1.7】

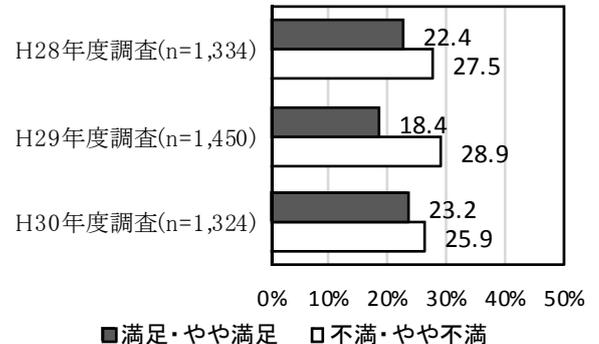
●「不満・やや不満」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(6) 様々な媒体を活用した県民へのわかりやすい広報、 県外に向けた戦略的イメージ発信等情報発信の取組	【+2.4】
【上位2】(1) 観光資源を活用した観光誘客の取組	【+1.0】
【上位3】(3) 鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進	【+0.7】
(4) 県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組	【+0.6】
(5) 次世代エネルギーの推進や二酸化炭素量削減の取組	【+0.2】

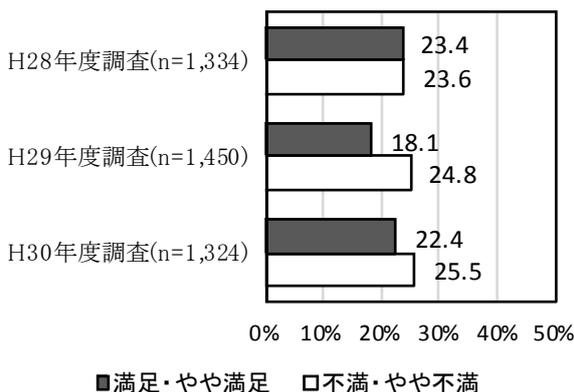
(1) 観光資源を活用した観光誘客の取組



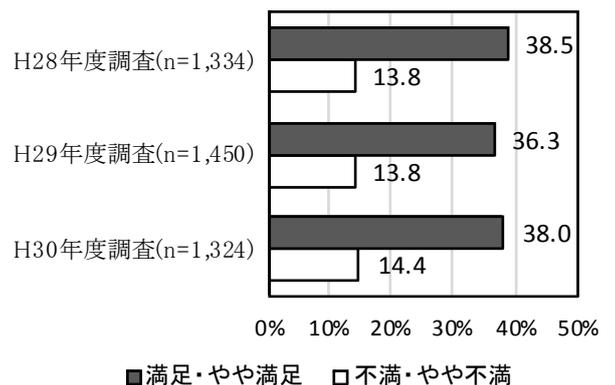
(2) 外国人観光客が訪れやすい観光地づくり



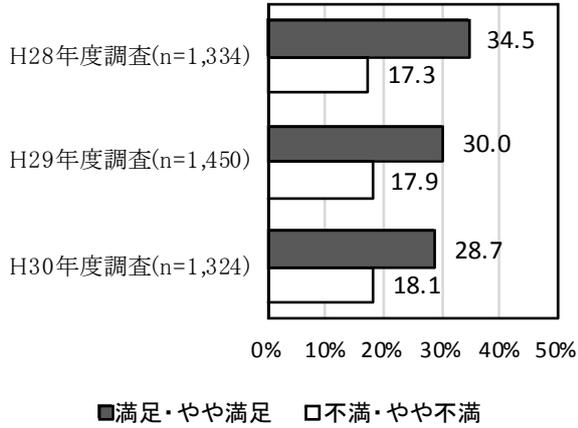
(3) 鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進



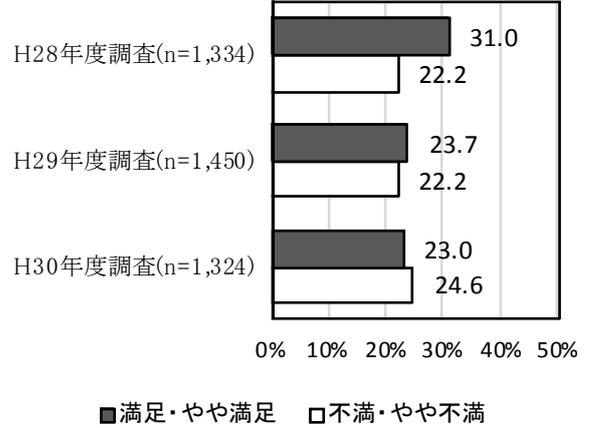
(4) 県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組



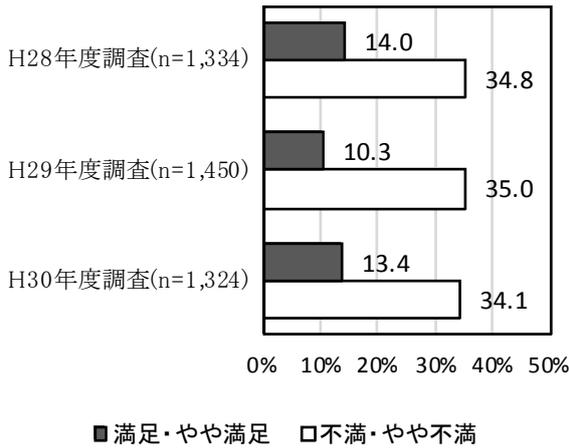
(5) 次世代エネルギーの推進や二酸化炭素排出削減の取組



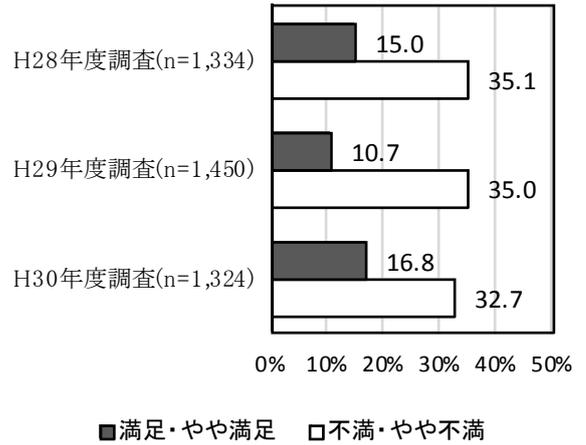
(6) 様々な媒体に活用した県民へのわかりやすい広報、県外に向けた戦略的イメージ発信など情報発信の取組



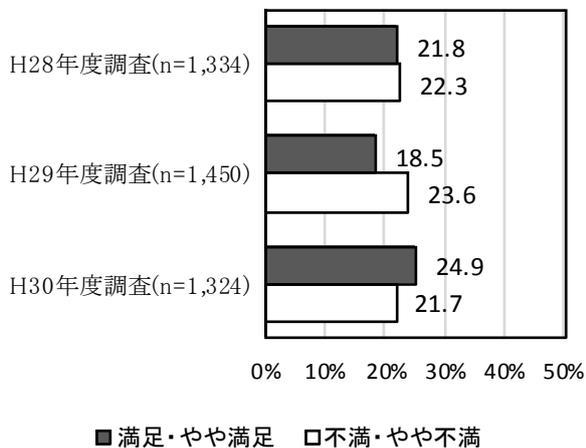
(7) 農林水産・畜産の担い手育成への取組



(8) 農業の活力増進に関する取組



(9) 農林水産物の販売戦略



問4-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組について、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思う項目を3つお選びください。（平成28年度-平成30年度比較）

～「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」「観光資源を活用した観光誘客の取組」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」が49.8%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が44.8%、「観光資源を活用した観光誘客の取組」が37.1%と続き、『農林水産・畜産業振興に関連した取組と観光振興に関する取組』が上位を占めている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、「観光資源を活用した観光誘客の取組」「鳥取県周辺地域と連携した観光誘客の推進」「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」が増加傾向となっている。また、「外国人観光客が訪れやすい観光地づくり」「県内の豊かな自然や環境を保存し活用する取組」は28年度-29年度は減少、29年度-30年度は増加している。

性・年代別でみると、男性の60～70歳以上で「農林水産・畜産業の担い手育成への取組」「農業の活力増進に関する取組」の割合が高い。女性の40～60歳で「農業の活力増進に関する取組」の意見が多くみられる。

図11 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度

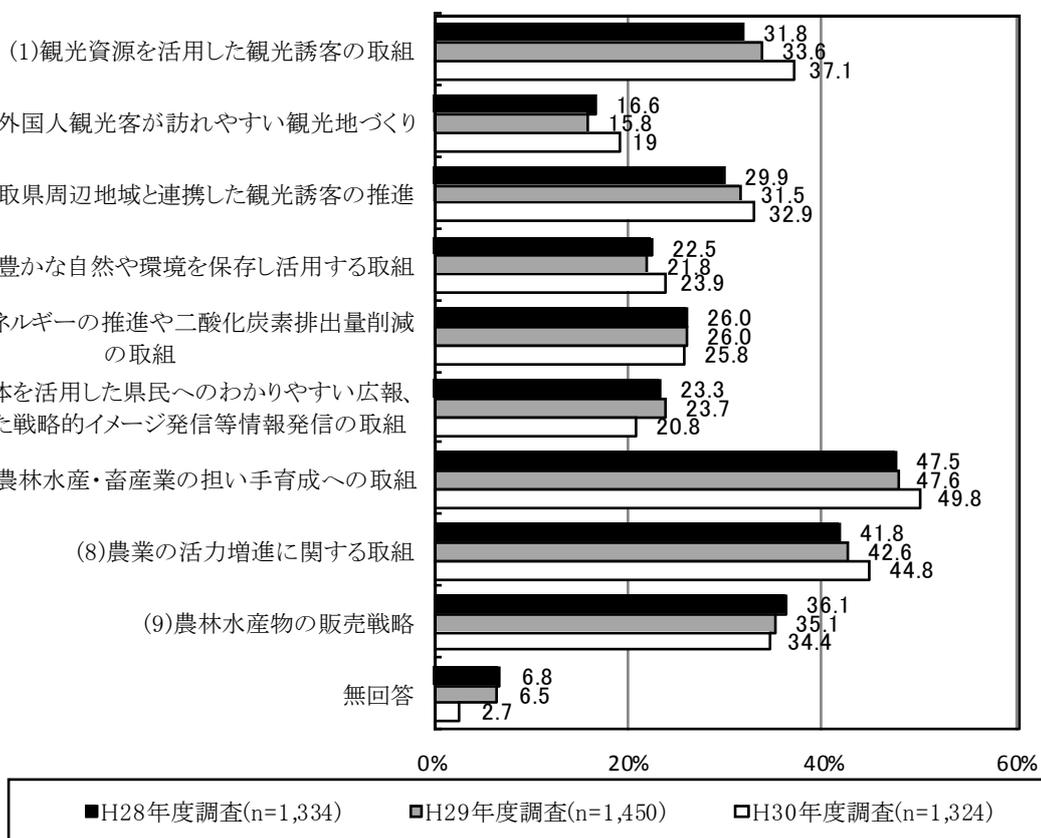
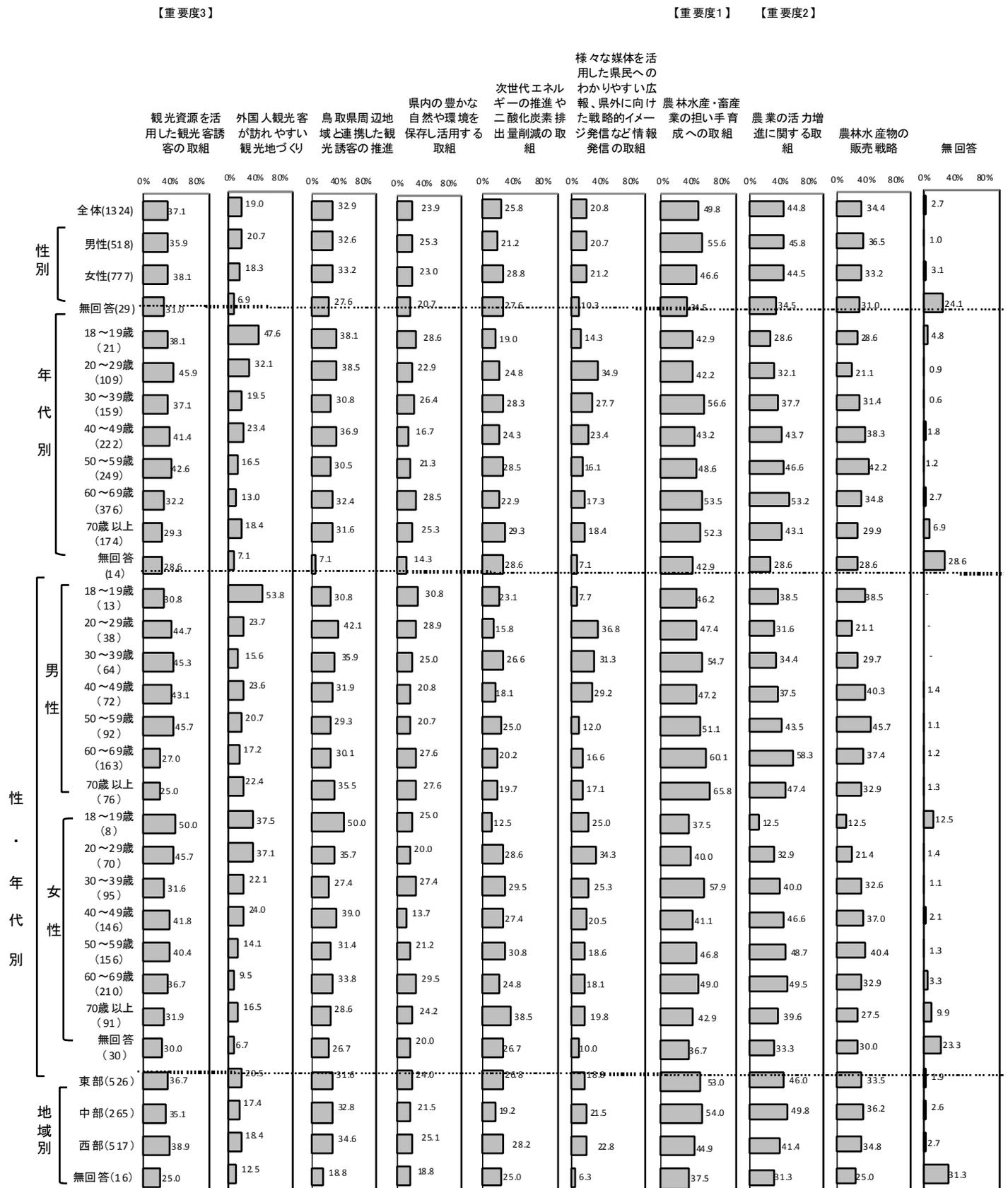


図 12 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる(今後優先すべき項目)



## 問 4-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～安心して出産や子育てができる環境づくりは「満足」と感じている～

人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が 33.7%と最も高く、次いで「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」が 19.6%、「地域社会で子どもを育て、世代を支える取組」が 16.4%と続いている。

3ヶ年(28-30 年度)を比較してみると、満足度は、「安心して出産や子育てができる環境づくり(29 年度比:5.2 ポイント増加)」「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組(29 年度比:3.9 ポイント増加)」「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組(29 年度比:3.4 ポイント増加)」が 28 年度-29 年度は減少していたものの、30 年度は特に増加回復が大きな項目となっている。

図13 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(平成30年度)  
(n=1,324)

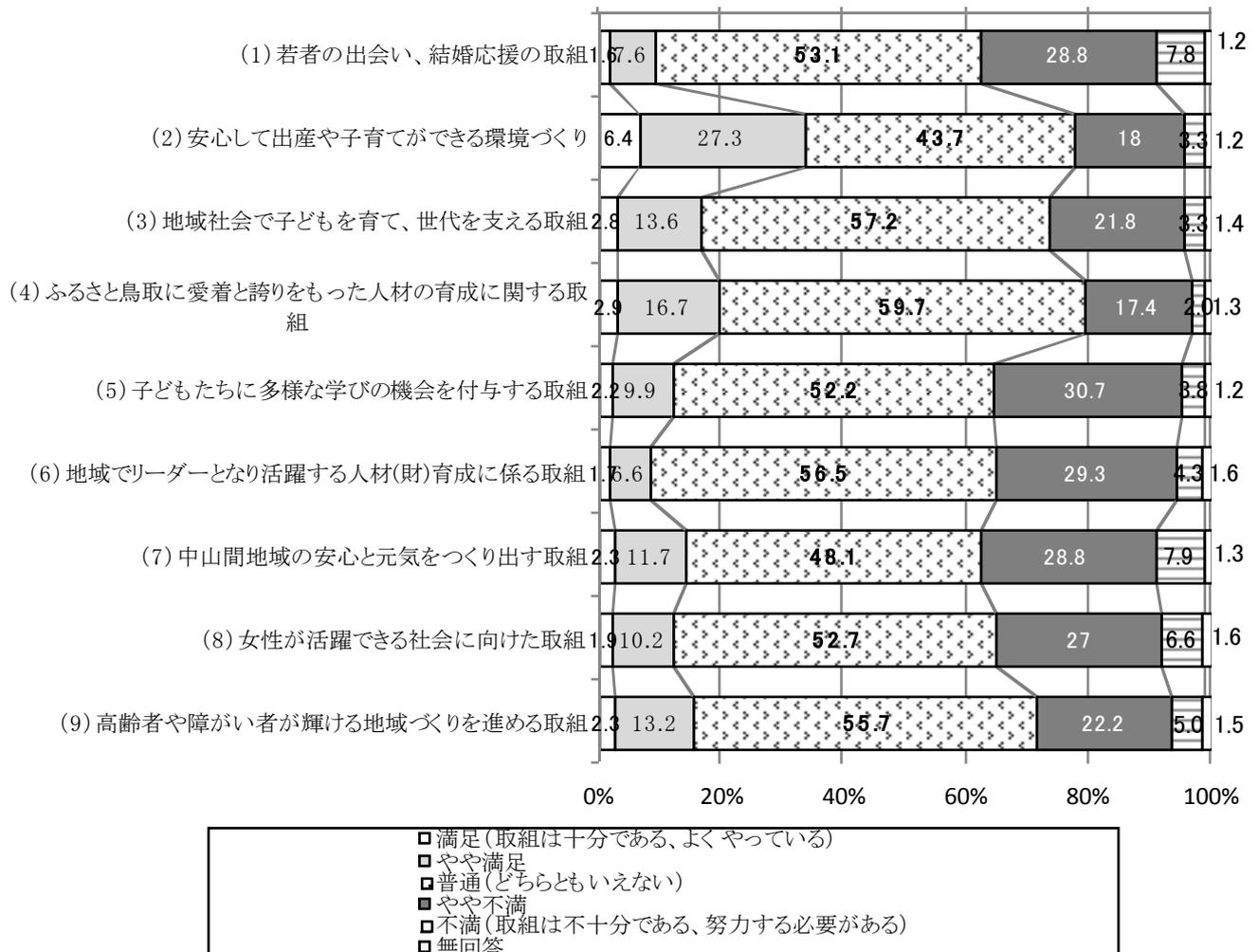
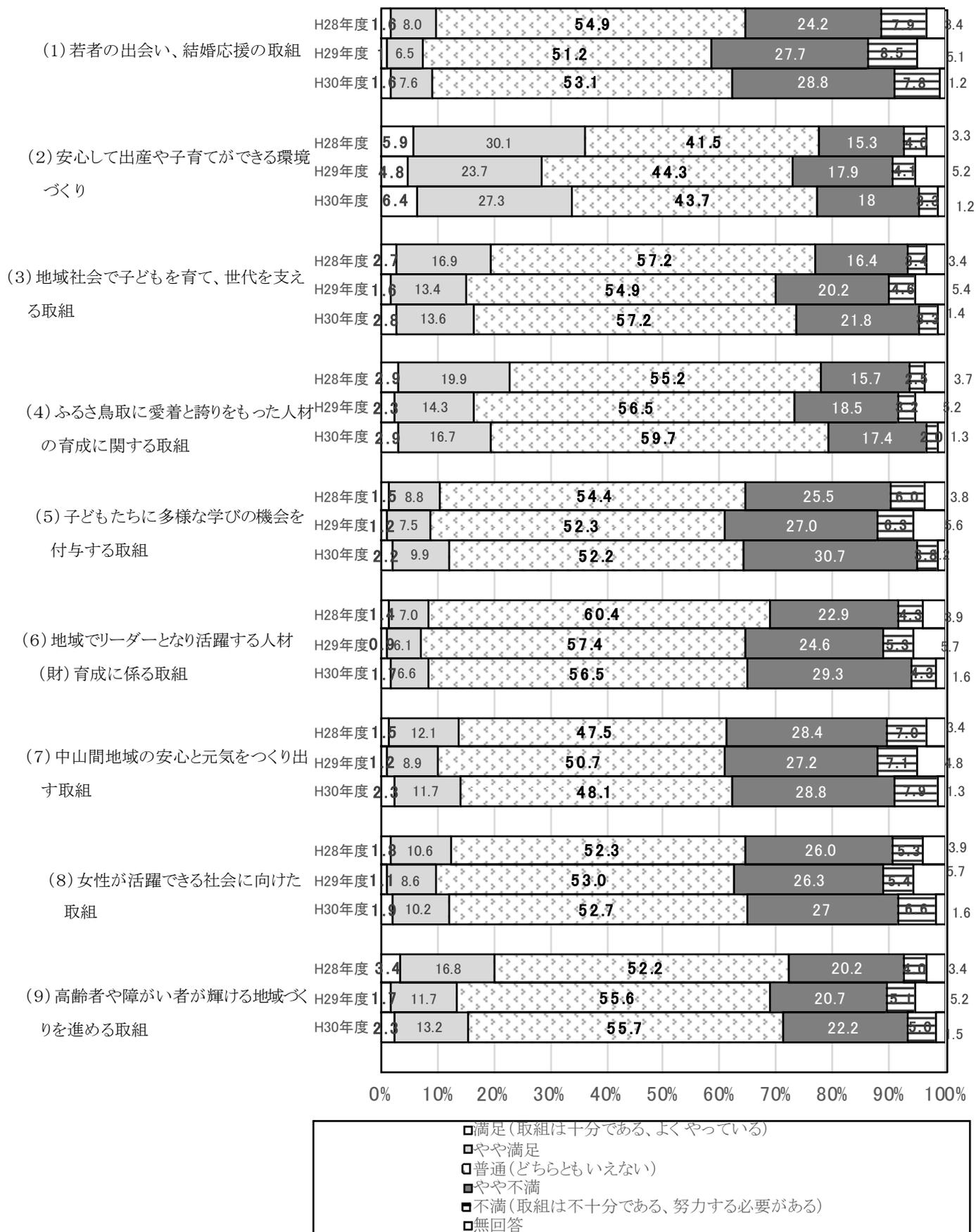


図14 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度



## 問 4-2-1 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

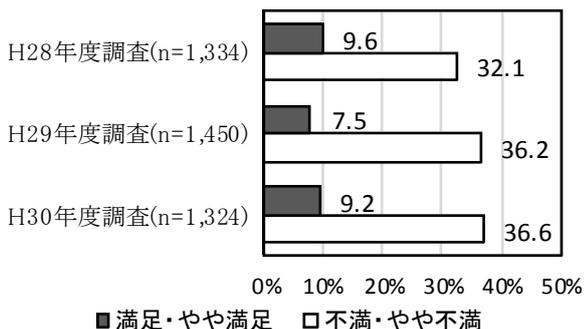
### ●「満足・やや満足」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(2) 安心して出産や子育てができる環境づくり	【+5.2】
【上位2】(7) 中山間地域の安心と元気をつくり出す取組	【+3.9】
【上位3】(5) 子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組	【+3.4】
(4) ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組	【+3.0】
(8) 女性が活躍できる社会に向けた取組	【+2.4】
(9) 高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組	【+2.1】
(1) 若者の出会い、結婚応援の取組	【+1.7】
(3) 地域社会で子どもを育て、世代を支える取組	【+1.4】
(6) 地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組	【+1.3】

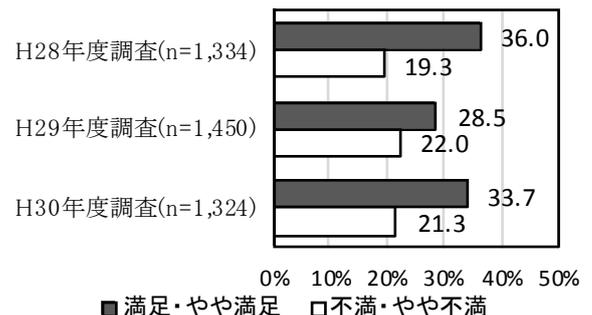
### ●「不満・やや不満」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(6) 地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組	【+3.7】
【上位2】(7) 中山間地域の安心と元気をつくり出す取組	【+2.4】
【上位3】(8) 女性が活躍できる社会に向けた取組	【+1.9】
(9) 高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組	【+1.4】
(5) 子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組	【+1.2】
(1) 若者の出会い、結婚応援の取組	【+0.4】
(3) 地域社会で子どもを育て、世代を支える取組	【+0.3】

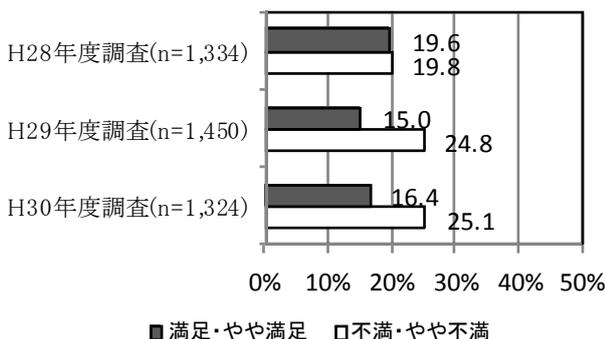
(1) 若者の出会い、結婚応援の取組



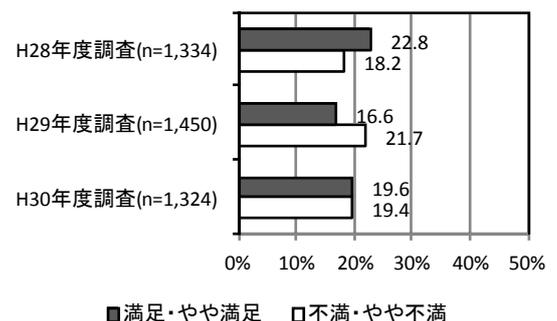
(2) 安心して出産や子育てができる環境づくり



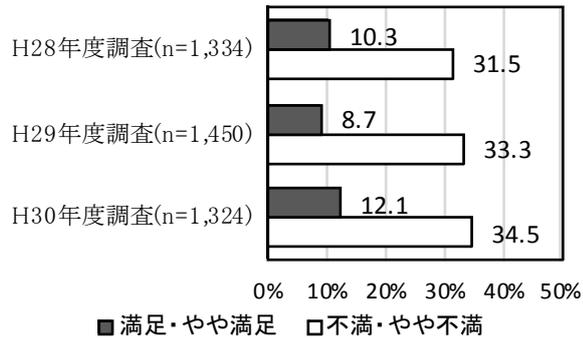
(3) 地域社会で子どもを育て、世代を支える取組



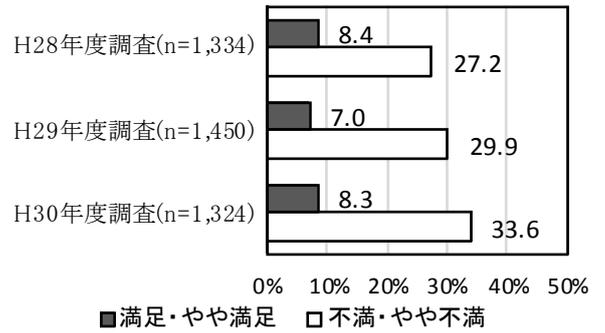
(4) ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組



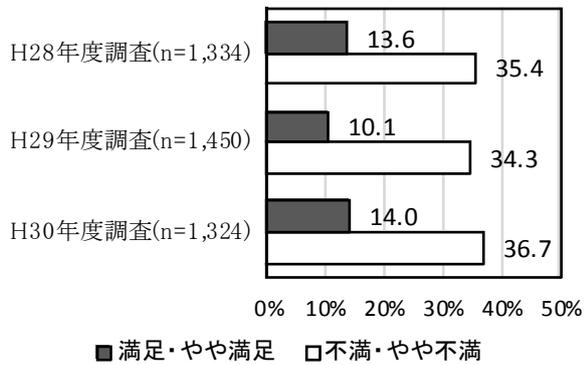
**(5) 子どもたちに多様な学びの機会を付与する  
取組**



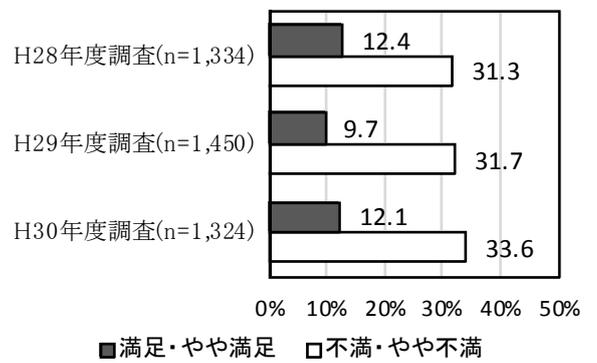
**(6) 地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成  
に係る取組**



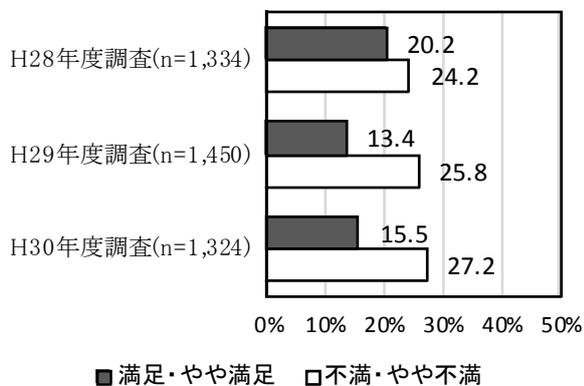
**(7) 中山間地域の安心と元気をつくり出す取組**



**(8) 女性が活躍できる社会に向けた取組**



**(9) 高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組**



問4-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「安心して出産や子育てができる環境づくり」「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」  
 「若者の出会い、結婚応援の取組」「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」  
 が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「安心して出産や子育てができる環境づくり」が47.7%と最も割合が高く、次いで「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」が39.7%、「若者の出会い、結婚応援の取組」が34.8%、「高齢者や障がい者が輝ける地域づくりを進める取組」が33.8%と続き、『出産・子育ての環境づくり、中山間地域の活性化、結婚応援や高齢者・障がい者』の取組が上位となっている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、「若者の出会い、結婚応援の取組」「安心して出産や子育てができる環境づくり」「地域でリーダーとなり活躍する人材(財)育成に係る取組」が増加傾向となっている。また、「ふるさと鳥取に愛着と誇りをもった人材の育成に関する取組」「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」「女性が活躍できる社会に向けた取組」は28年度-29年度は減少、29年度-30年度は増加している。

性・年代別でみると、男性の50～70歳代で「中山間地域の安心と元気をつくり出す取組」の割合が高い。女性の20～40歳代で「安心して出産や子育てができる環境づくり」「子どもたちに多様な学びの機会を付与する取組」「女性が活躍できる社会に向けた取り組み」が高い。

図15 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度

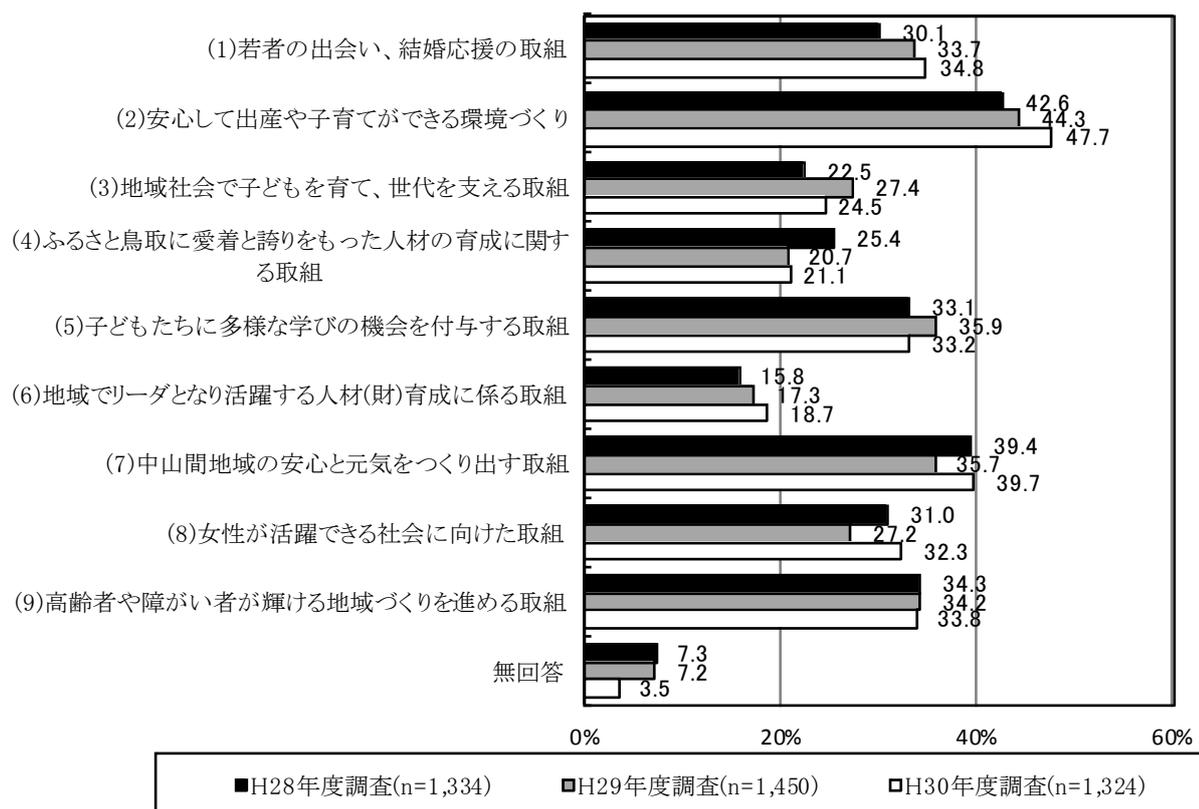
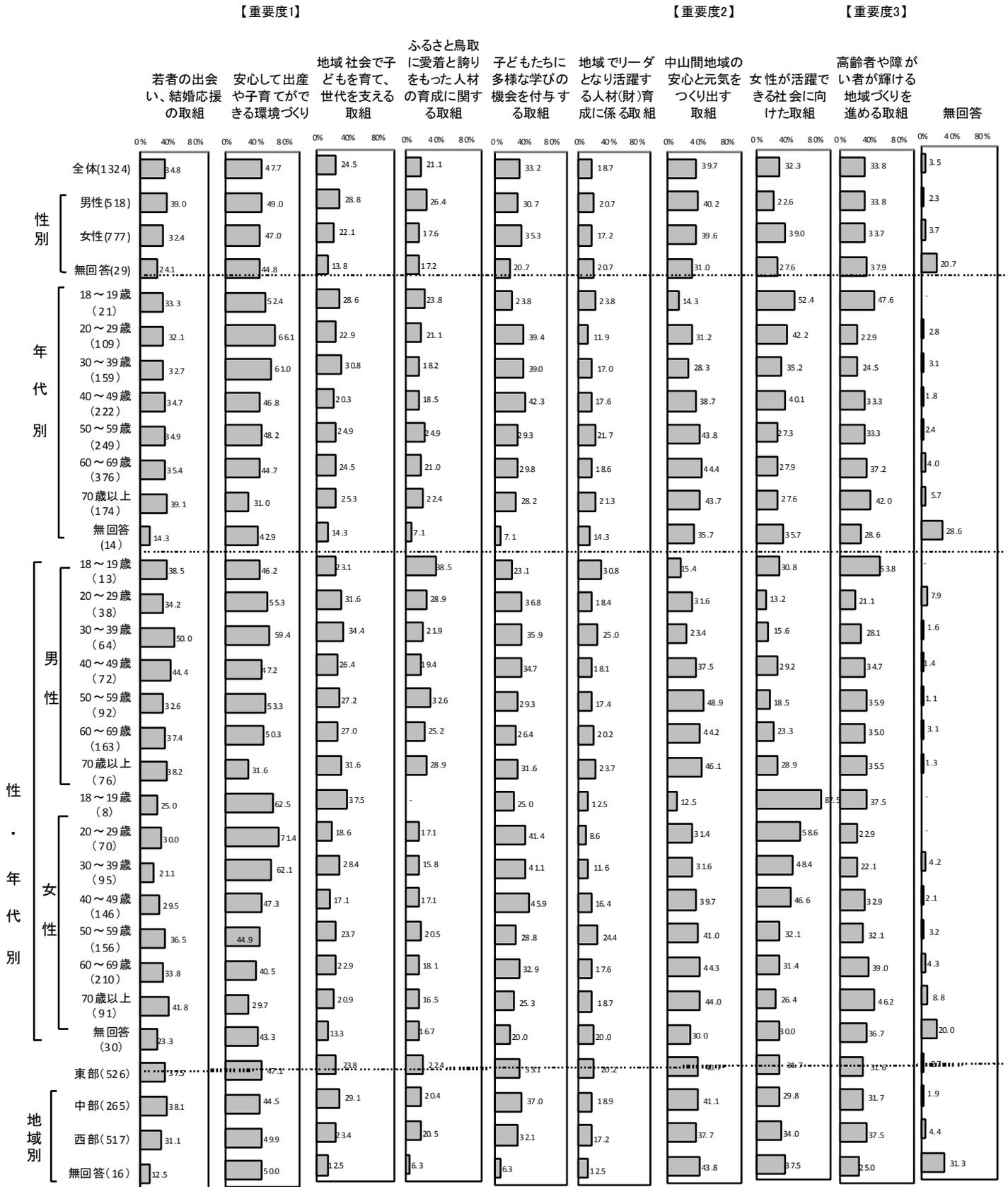


図 16 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む(今後優先すべき項目)



### 問4-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～移住促進・スポーツ面の「満足」が高い～

幸せを感じながら鳥取の時を楽しむための取組の満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「スポーツの盛んな地域づくりへの取組」が16.3%と最も高く、次いで「他地域からの移住(転入)促進の取組」が14.0%、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が12.9%と続いている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、満足度は「スポーツの盛んな地域づくりへの取組(29年度比:4.3ポイント増加)」「新たな産業を生み出すための取組(29年度比:1.9ポイント増加)」「誰もが能力を發揮できる雇用の実現(29年度比:1.6ポイント増加)」「安全・快適な通信環境の整備(29年度比:1.6ポイント増加)」「安全・快適な通信環境の整備(29年度比:1.6ポイント増加)」「他地域からの移住(転入)促進の取組(29年度比:1.6ポイント増加)」が28年度-29年度は減少していたものの、30年度は特に増加回復が大きな項目となっている。

図17 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(平成30年度)  
(n=1,324)

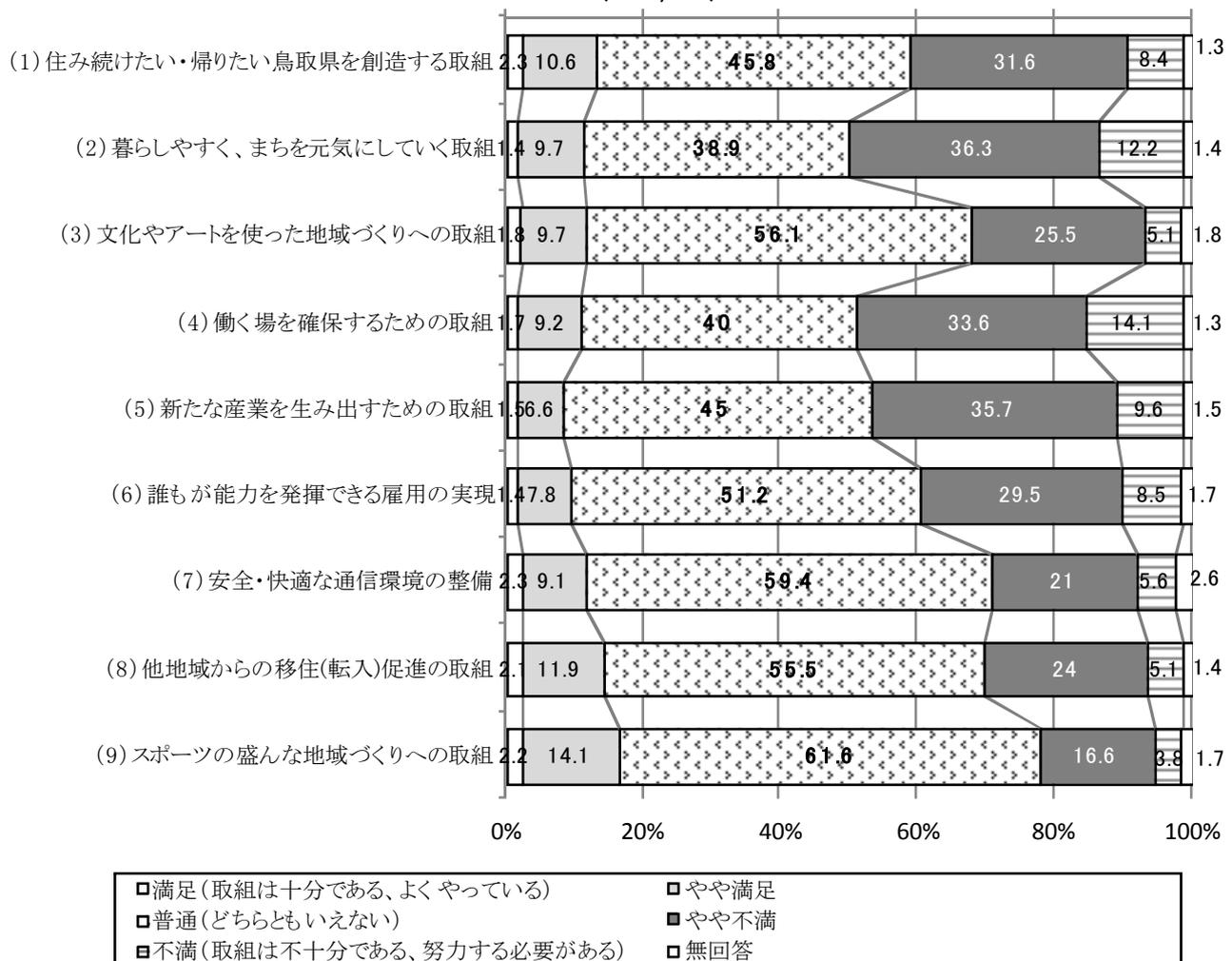
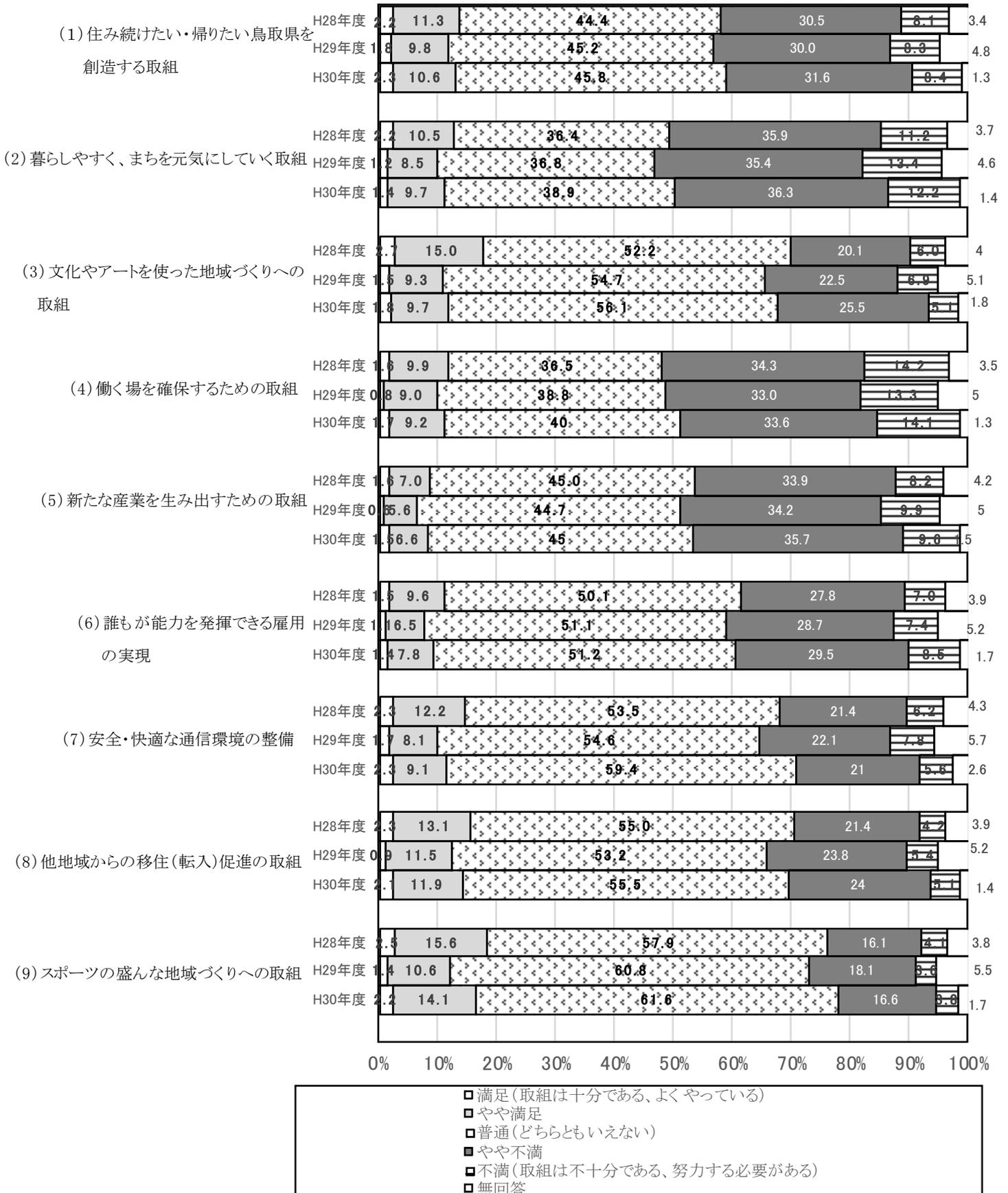


図18 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度



## 問 4-3-1 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

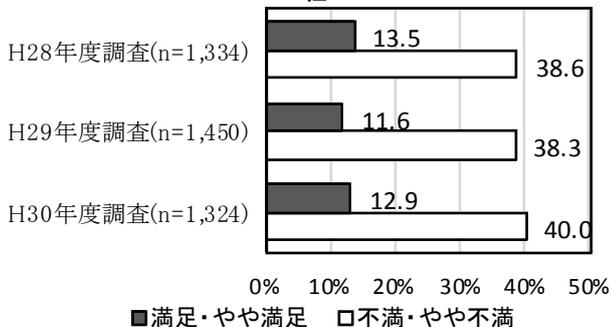
### ●「満足・やや満足」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組	【+4.3】
【上位2】(5) 新たな産業を生み出すための取組	【+1.9】
【上位3】(6) 誰もが能力を発揮できる雇用の実現	【+1.6】
【上位3】(7) 安全・快適な通信環境の整備	【+1.6】
【上位3】(8) 他地域からの移住(転入)促進の取組	【+1.6】
(2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組	【+1.4】
(1) 住みたい・帰りたい鳥取県を創造する取組	【+1.3】
(4) 働く場を確保するための取組	【+1.1】
(3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組	【+0.7】

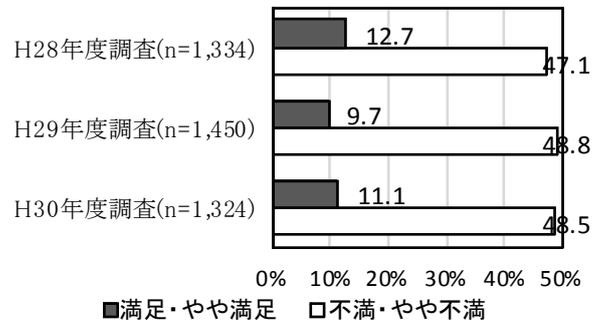
### ●「不満・やや不満」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(6) 誰もが能力を発揮できる雇用の実現	【+1.9】
【上位2】(1) 住みたい・帰りたい鳥取県を創造する取組	【+1.7】
【上位3】(4) 働く場を確保するための取組	【+1.4】
(3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組	【+1.2】
(5) 新たな産業を生み出すための取組	【+1.2】

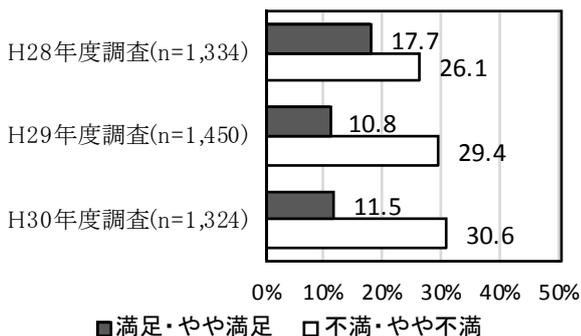
(1) 住みたい・帰りたい鳥取を創造する取組



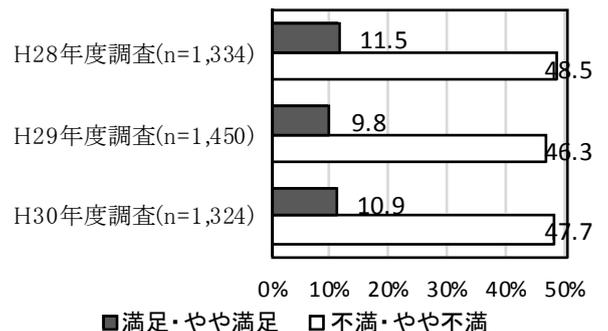
(2) 暮らしやすく、まちを元気にしていく取組



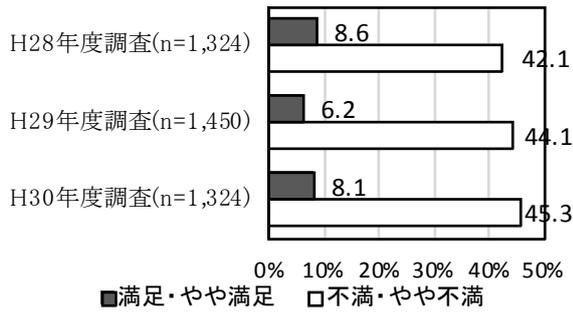
(3) 文化やアートを使った地域づくりへの取組



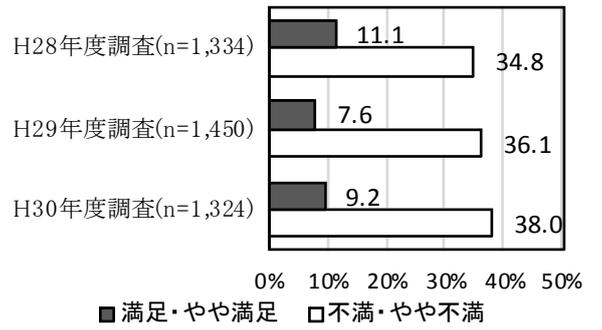
(4) 働く場を確保するための取組



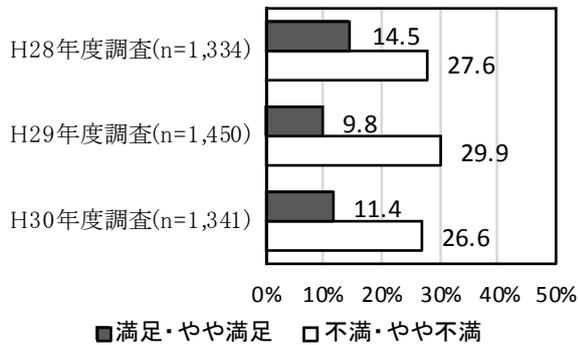
**(5) 新たな産業を生み出すための取組**



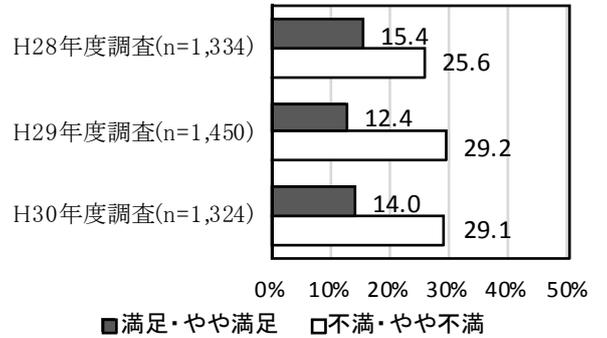
**(6) 誰もが能力を発揮できる雇用の実現**



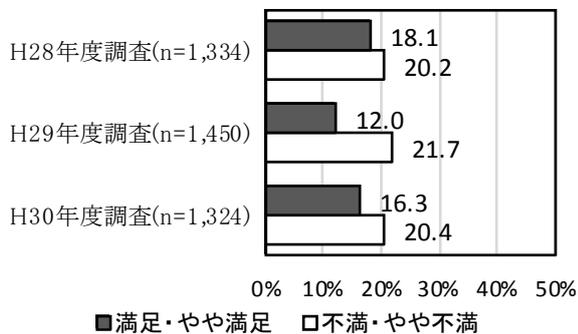
**(7) 安全・快適な通信環境の整備**



**(8) 他地域からの移住(転入)促進の取組**



**(9) スポーツの盛んな地域づくりへの取組**



問4-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「働く場を確保するための取組」「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「働く場を確保するための取組」が62.5%と最も割合が高く、次いで「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」が54.4%、「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」49.4%と続き、『働く場の確保や住み続けたい鳥取県の創造、まちを元気にしていく』取組が上位となっている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」「他地域からの移住(転入)促進の取組」が増加傾向となっている。また、「働く場を確保するための取組」「誰もが能力を發揮できる雇用の実現」は28年度-29年度は減少、29年度-30年度は増加している。

性・年代別でみると、男性の50～70歳代で「働く場を確保するための取組」の割合が高い。女性の20～30歳代、50歳代で「住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造する取組」、20～30歳代で「暮らしやすく、まちを元気にしていく取組」、20～60歳代で「働く場を確保するための取組」が高くなっている。

図19 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度

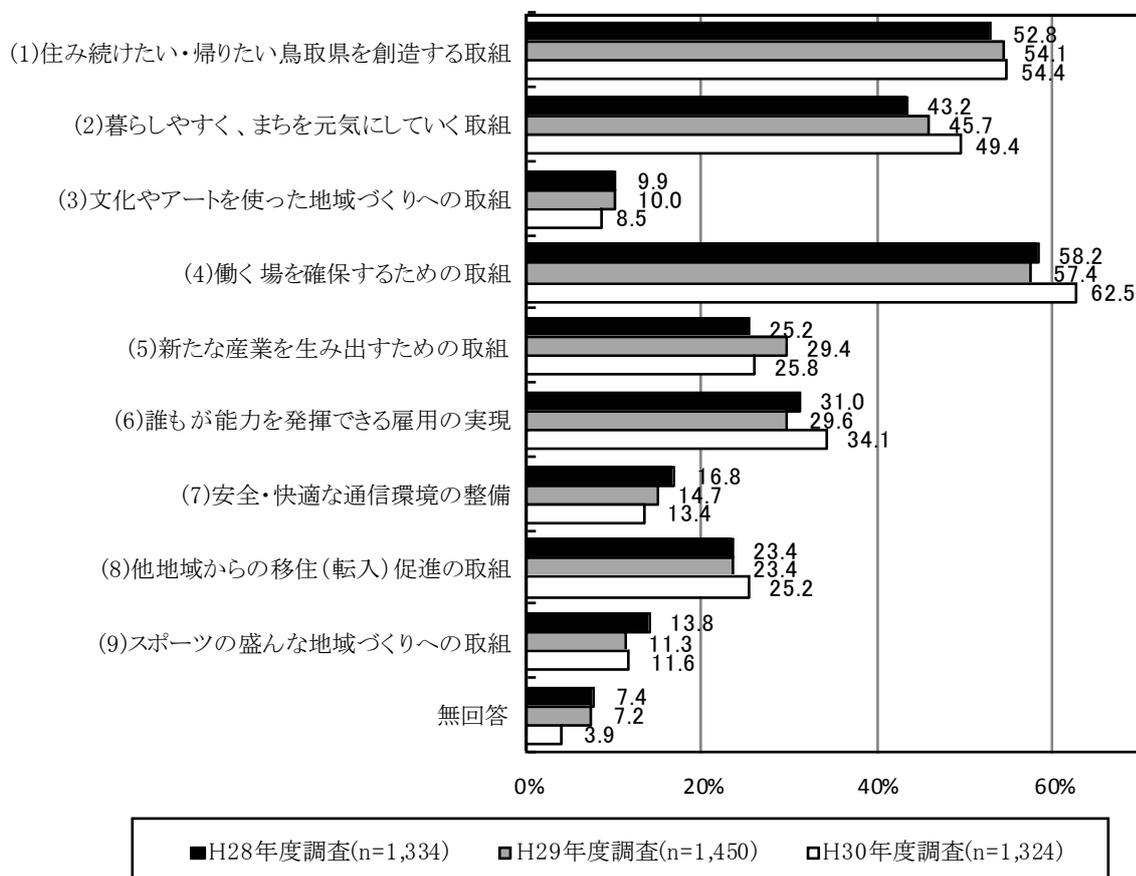
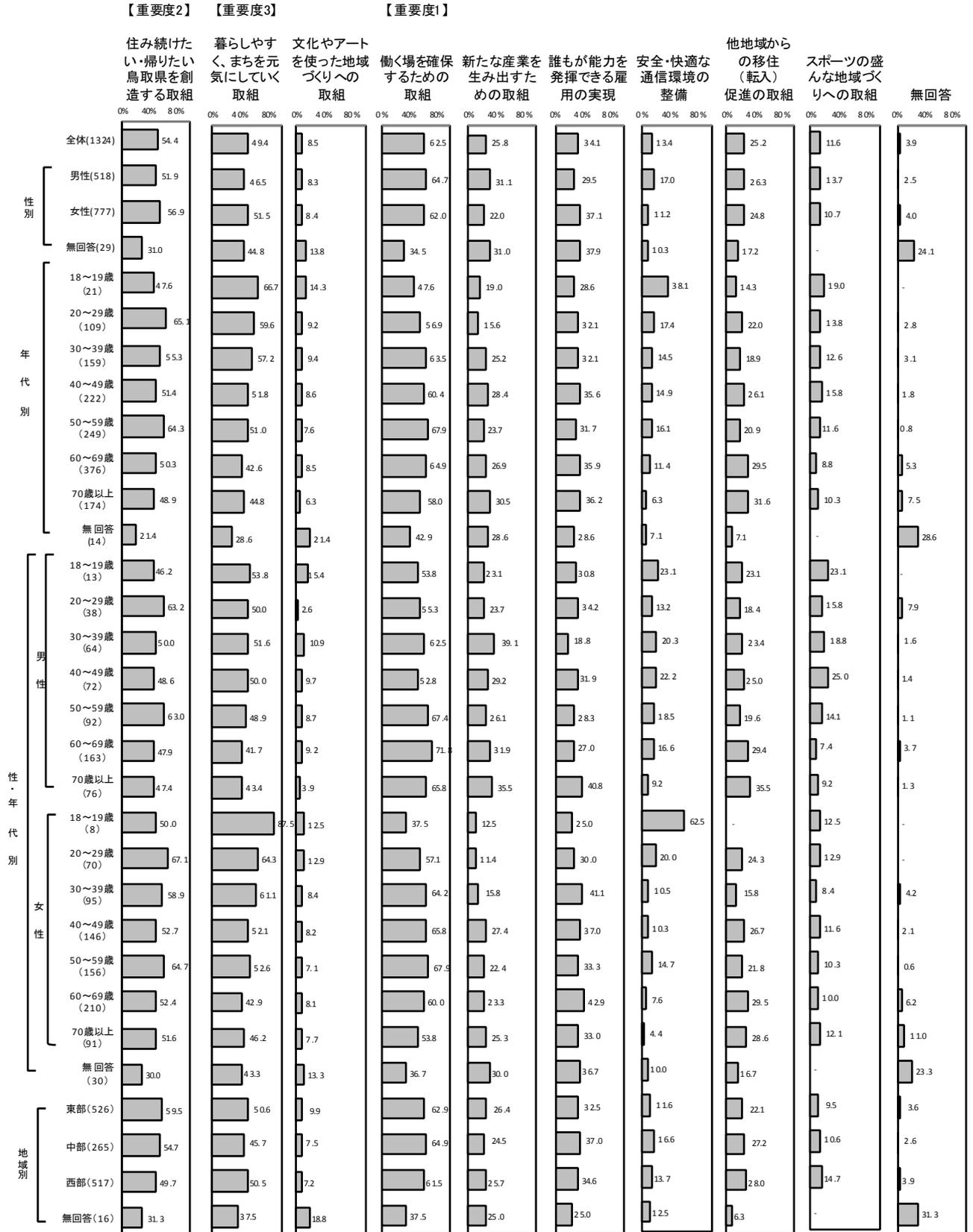


図 20 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ(今後優先すべき項目)



#### 問4-4 「県政のさまざまな取組」に対する満足度

～医療体制の強化や地域犯罪・交通事故防止には「満足」が高い～

県政のさまざまな取組について、満足度(満足・やや満足の計)の高い項目は、「健康を守り、医療体制を強化する取組」が31.0%と最も高く、次いで「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」が25.4%、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組」が共に20.3%と続いている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、満足度は「健康を守り、医療体制を強化する取組(29年度比:7.4ポイント増加)」「人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現(29年度比:5.2ポイント増加)」「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組(29年度比:2.6ポイント増加)」が28年度-29年度は減少していたものの、30年度は特に増加回復が大きな項目となっている。

図21 「県政のさまざまな取組」の満足度(平成30年度)  
(n=1,324)

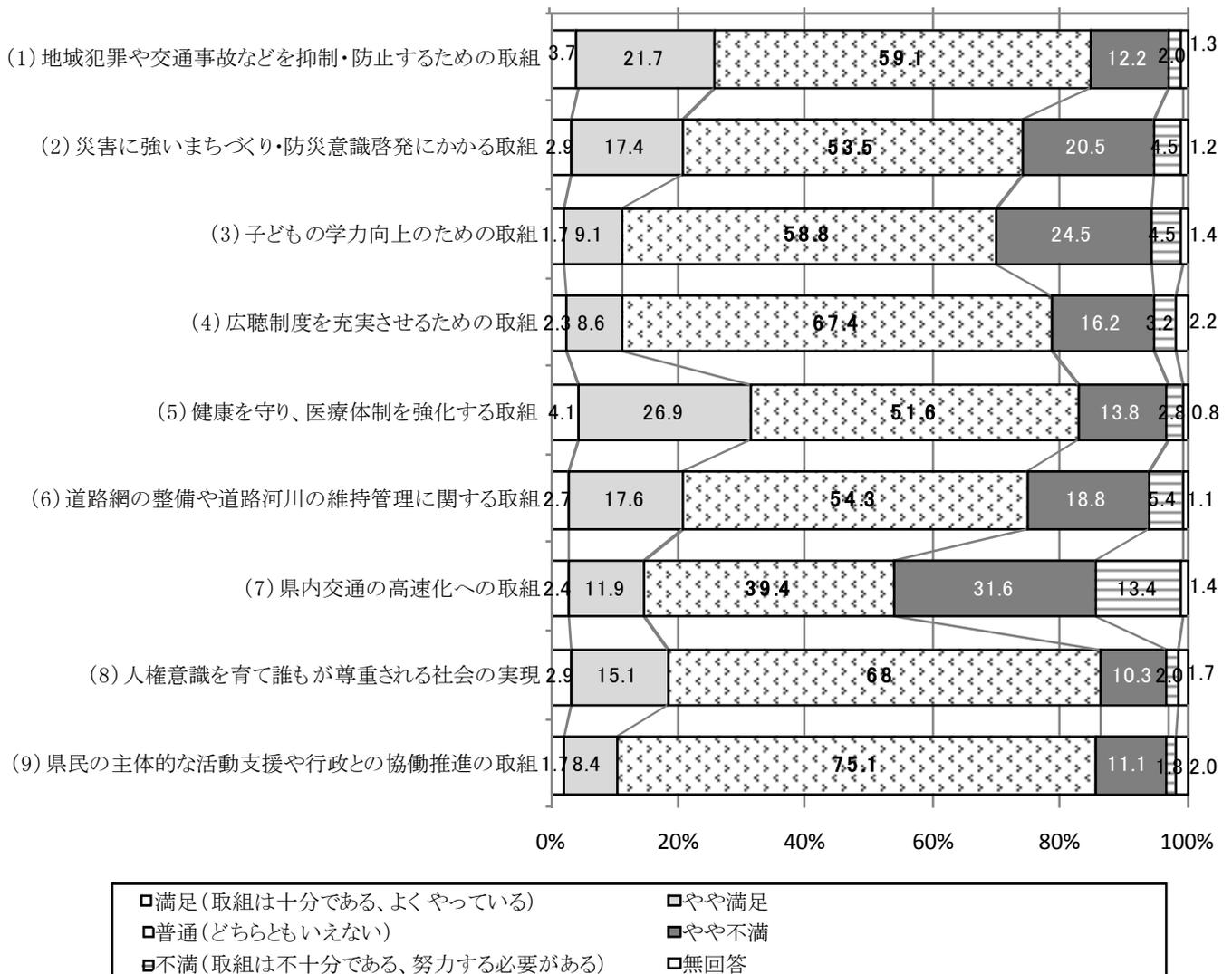
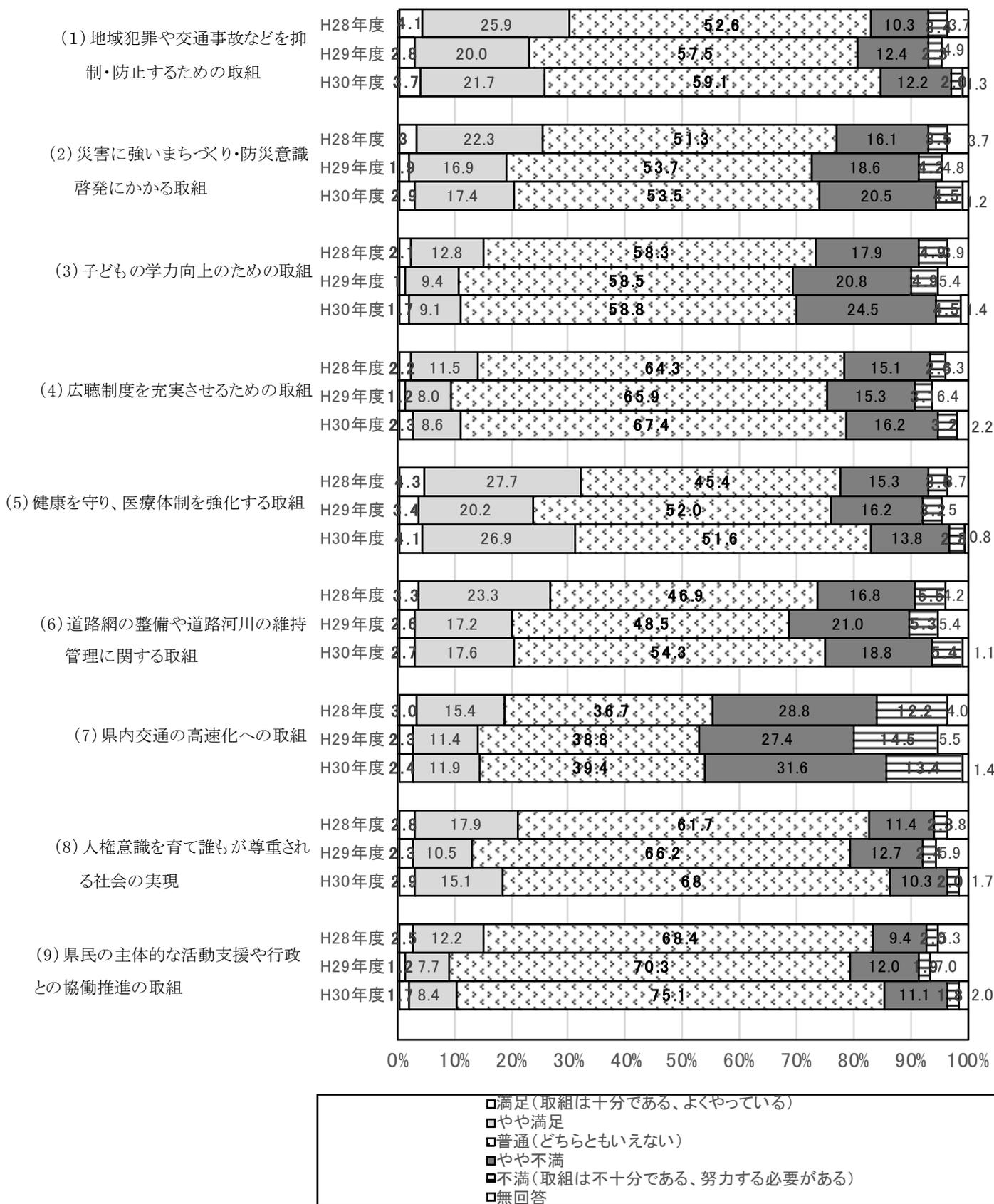


図22 「県政のさまざまな取組」の満足度(n=1,324)



## 問 4-4-1 「県政のさまざまな取組」の満足度

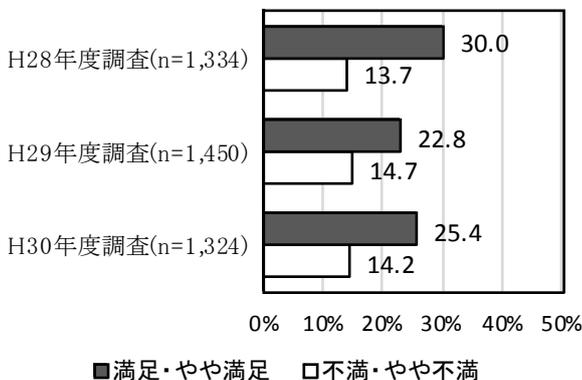
### ●「満足・やや満足」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(5) 健康を守り、医療体制を強化する取組	【+7.4】
【上位2】(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現	【+5.2】
【上位3】(1) 地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組	【+2.6】
(4) 広聴制度を充実させるための取組	【+1.7】
(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組	【+1.5】
(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働の取組	【+1.2】
(7) 県内交通の高度化への取組	【+0.6】
(6) 道路網の整備や道路河川の維持管理に関する取組	【+0.5】
(3) 子どもの学力向上のための取組	【+0.4】

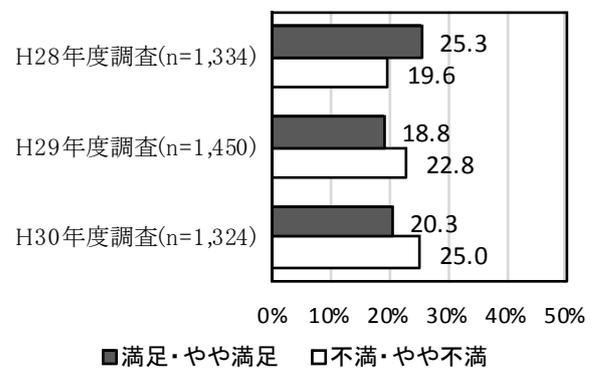
### ●「不満・やや不満」の前年度よりポイント数が上がった項目

【上位1】(3) 子どもの学力向上のための取組	【+3.3】
【上位2】(7) 県内交通の高速化への取組	【+3.1】
【上位3】(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組	【+2.2】
(4) 広聴制度を充実させるための取組	【+1.0】

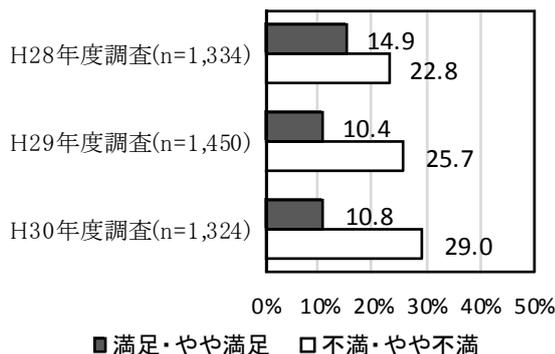
(1) 地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組



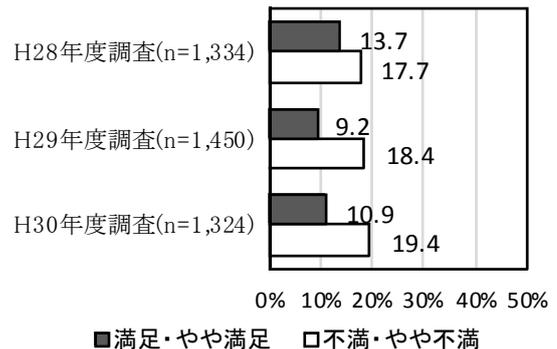
(2) 災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組



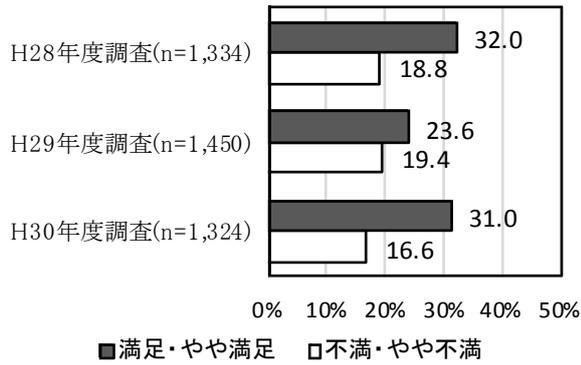
(3) 子どもの学力向上のための取組



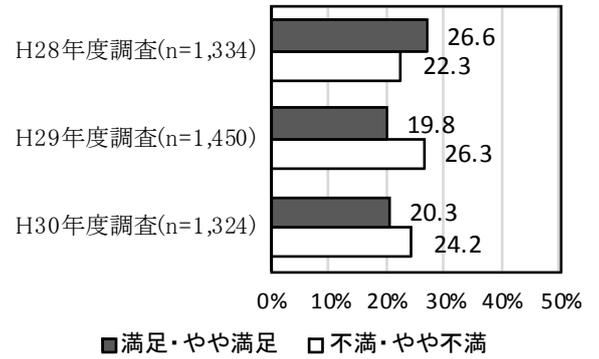
(4) 広聴制度を充実させるための取組



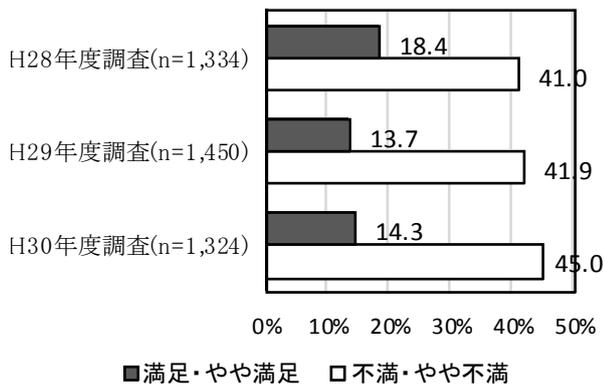
**(5) 健康を守り、医療体制を強化する取組**



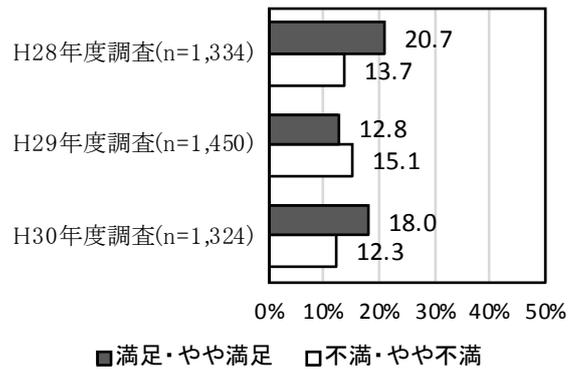
**(6) 道路網の整備や道路・河川の維持管理に関する取組**



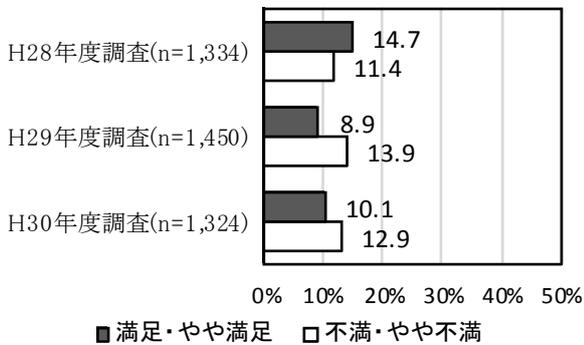
**(7) 県内交通の高度化への取組**



**(8) 人権意識を育て誰もが尊重される社会の実現**



**(9) 県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組**



問4-4-2 「県政のさまざまな取組」項目について、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「災害に強いまちづくり・防災意識啓発」「県内交通の高速化」「健康を守り、医療体制を強化」が高い～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」が56.0%と最も割合が高く、次いで「県内交通の高速化への取組」が44.8%、「健康を守り、医療体制を強化する取組」42.8%と続き、『防災や医療体制の強化、高速道路への取組』が上位となっている。

3ヶ年(28-30年度)を比較してみると、「災害に強いまちづくり・防災意識啓発にかかる取組」「子どもの学力向上のための取組」が増加傾向となっている。また、「地域犯罪や交通事故などを抑制・防止するための取組」「広聴制度を充実させるための取組」「県内交通の高速化への取組」「県民の主体的な活動支援や行政との協働推進の取組」は28年度-29年度は減少、29年度-30年度は増加している。

性・年代別でみると、男性の30～50歳代で「県内交通の高速化への取組」の割合が高い。女性の20～40歳で「子どもの学力向上のための取組」「県内交通の高速化への取組」が高くなっている。

図23 「県政のさまざまな取組」の重要度

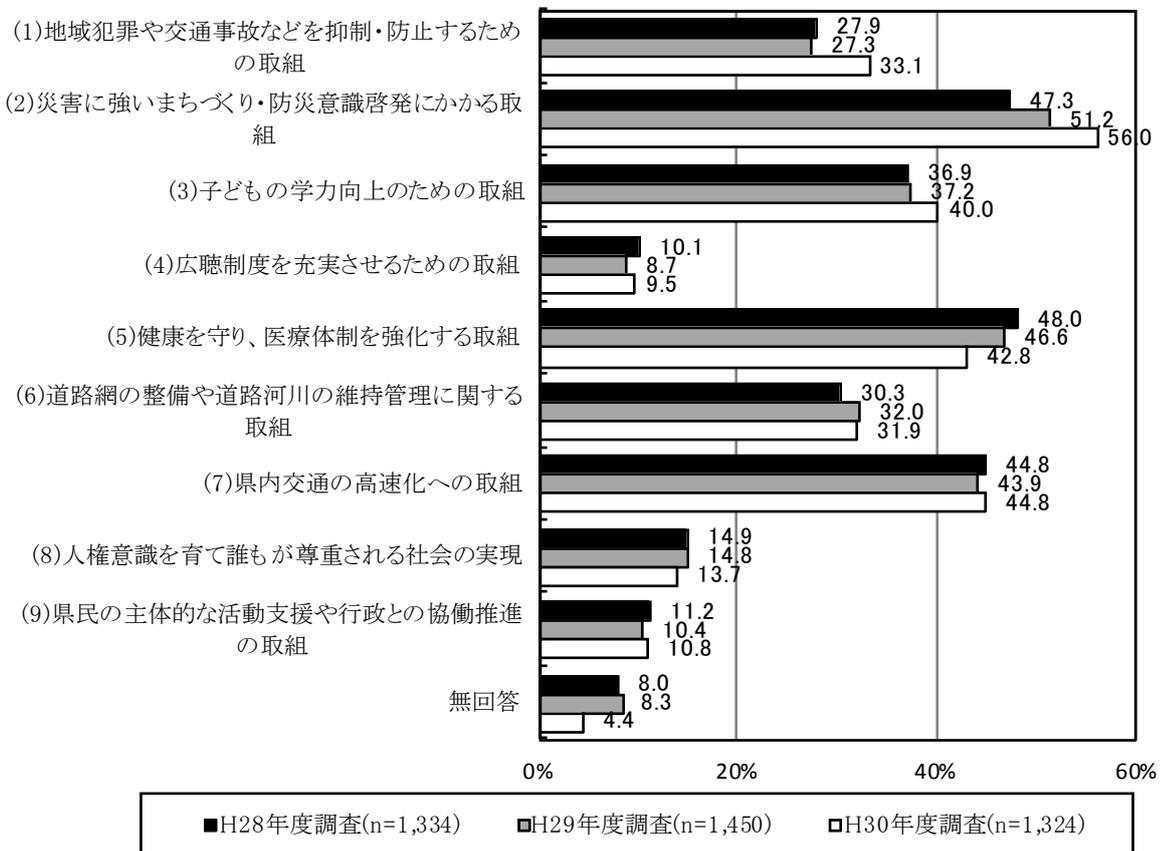


図 24 「県政のさまざまな取組」(今後優先すべき項目)

